

高階南小学校では、理科好きの児童の育成を目指した取り組みをしています。  
このページでは、児童が行っている理科の授業やクラブの活動などを紹介します。

## 2学期の授業から

### ■ 5年生「花から実へ」(9月)

ヘチマは、花びらの下の部分にふくらみのある<sup>めばな</sup>雌花と  
ふくらみのない<sup>おぼな</sup>雄花の2種類の花が咲きます。

この授業では、おしべの先についている花粉を顕微鏡  
で観察しました。

ラクビーボール形の花粉がよく見え、きれいな形に感  
動しました。



### ■ 4年生「とじ込めた空気や水」(10月)

閉じ込めた空気を押すと、空気は押し縮められて、体積が小さ  
くなり、また小さくなった空気は、元の体積に戻ろうとする性質  
があることを学習しました。

また、この授業では浣腸器を使い、体  
積が小さくなるほど、空気に押し返され  
る手ごたえがあることを実感しました。

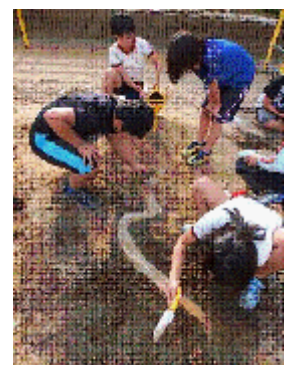


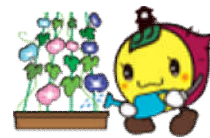
### ■ 5年生「流れる水の働き」(10月)

流れる水には、どんな働きがあるのか調べるために、校庭の  
斜面を利用して上から水を流し、その働きを調べる実験をし  
ました。

この実験から、地面を流れる水は、浸食・運搬・堆積するこ  
とが分かりました。

子どもたちはきらきらと目を輝かせ、時間を忘れて実験に取り  
組みました。





### ■ 6年生「月と太陽」（10月）

「月の見え方が、日によって変わるの、はどうしてだろうか。」という課題を持ち、実験を行いました。

暗くした理科室で、ボールを月に、電灯を太陽に、自分を地球に見立て、ボールに一方向から光を当てることで、光の当たった部分がそれぞれどのように見えるか調べました。

モデルの天体を動かし、月の見え方がどうなっているか、互いに意見を交換しながら集中して取り組んでいました。



### ■ 6年生「大地のつくりと変化」

私たちの学校の下は、どんなつくりになっているのか調べました。校庭をボーリングし、試料を取り出し調べ、大きく3層になっていることが観察できました。

その後、学校建築時のボーリングサンプルと柱状図を使い、さらに学校の下地の層のつくりについて学びました。

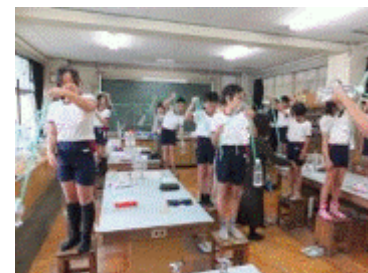
児童にとって野外で実際に地層の広がりを実感することは、新鮮な学習経験だったようです。



### ■ 5年生「ふりこのきまり」（12月）

ふりこが1往復する時間が変わるのはどんなときか、「ふりこの長さ」「おもりの重さ」「ふれはば」を変えて実験しました。

同じにする条件を確認しながら、真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。



### ■ 4年「ものの温度と体積」（12月）

「金属も温度によって、体積が変わるのか」を調べるために、金属の体積の変化を調べる器具、アルコールランプを使い実験しました。金属も空気や水のように、暖めると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなることが分かりました。

冷やした金属の玉が輪を通り抜けたり、暖めた金属の玉が輪を通り抜けなくなったりする様子に、児童からは、驚きの声があがっていました。

